

2023年11月10日発行

東海生研 ～メールマガジン 第227号～

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会

1. 2023年度「知」の集積による産学連携推進事業

☆「アグリビジネス創出フェア in 東海」の出展募集

【目的】東海地域における大学、企業、公設試験場、独立行政法人等の研究開発シーズや成果を紹介する場を提供し、参加者の産学官マッチングによるビジネス創出を支援します。

【開催場所】ウインクあいち <https://www.winc-aichi.jp/>

名古屋市市中村区名駅4丁目4-38 名古屋駅(名鉄、近鉄、JR)から3分

【開催日時・プログラム】

会場展示 2023年12月7日(木) 8階 802-804

13:00—13:20 開会式

13:20—17:00 ・ブース展示、ポスター展示

出展方法、出展申込書は東海生研 HP の「アグリビジネス創出フェア in 東海」をご覧ください。申込書をダウンロードし、メールでお申込みください。出展料は無料です。

メールの宛先：npo-tokai*ab.auone-net.jp *を@に変えてください。

技術相談(事前予約制)

ハイブリッド開催 2023年12月8日(金) 12階 1202

10:00—12:00 東海4県農業関係試験研究機関

愛知県農業総合試験場 三重県農業研究所 静岡県農林技術研究所

岐阜県農業技術センターの公開シンポジウム

13:00—14:30 東海生研主催の成果発表会

Web 展示 2023年12月7日(木) —2024年2月8日(水)

東海生研 HP にて出展機関のデータ(映像、テキスト等)を公開します。

主催：農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課産学連携室

NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会

共催：東海4県農業関係試験研究機関

後援：名古屋大学大学院生命農学研究科 農業・食品産業技術総合研究機構 中日本農業研究センター 公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会

.....

2. 東海地域内のセミナー・シンポ・会議等

☆東海農政局消費者の部屋

特別展示

11月1日～11月16日まで 「受け継がれる食文化～うち郷土料理～を食卓に」

11月20日～12月6日まで 「花を飾ってみませんか？」

12月8日～12月22日まで 「動物検疫所の仕事」

<https://www.maff.go.jp/tokai/shohi/seikatsu/heyata/tokubetsu/index.html>

.....

3. その他の地域でのセミナー・シンポジウム・会議等（オンライン開催があるもの）

☆アグリビジネス創出フェア 2023

農林水産省の主催により、11月20日～22日に東京ビッグサイト 南2ホールで「アグリビジネス創出フェア 2023」が開催されます。なお、オンラインサイトの展示は10月3日から開始されており、3月15日まで行われる予定です。

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/231006.html>

<https://agribiz.maff.go.jp>

☆「知」の集積と活用の中

1) 農林水産省等の主催により「知」の集積と活用の中の関係イベントとして、10月27日に「食関連分野 オープンイノベーションチャレンジピッチ」がオンラインで開催されます。

<https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/230927.html>

2) 農林水産省の主催により、11月7日に大崎ブライツコアホールで「知」の集積と活用の中「令和5年度 ポスターセッション」が開催されます。11月29日にはオンラインセッションが行われます。特設サイトでのポスター展示は10月6日から開始されており、11月30日まで行われる予定です。

https://www.affrc.maff.go.jp/docs/press/231006_17.html

☆生研支援センターの研究委託事業に関する令和6年度予算概算要求に基づく応募前説明及び個別相談について

生研支援センターでは、幅広い分野から優れた研究課題を提案していただくことを目的に、令和6年度概算要求に基づいた公募事業の概要や課題提案書の作成等における留意点、採択後の事務手続きを動画で説明するとともに、個別相談を実施します。

ぜひご覧ください！

▼詳細はこちらから（生研支援センターウェブサイト）

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/event/159753.html>

【動画掲載期間】

令和5年10月23日（月）～

上記生研支援センターウェブサイト上に説明動画・資料を掲載しております。

【説明内容一覧】

- 1 『「知」の集積と活用の中』及び令和6年度予算概算要求について
- 2 オープンイノベーション研究・実用化推進事業の概要及び応募に当たっての留意点

- 3 スタートアップ総合支援プログラム（SBIR 支援）の概要及び応募に当たっての留意点
- 4 次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化の概要及び応募に当たっての留意点
- 5 採択後の事務手続き及び研究活動における不正行為の防止

【個別相談】

申込受付期間：令和 5 年 10 月 23 日（月）～11 月 22 日（水）※定員に達し次第締め切り

実施期間：令和 5 年 11 月 14 日（火）・24（金）・27 日（月）・28 日（火）・29 日（水）

申込方法：上記生研支援センターウェブサイト上の申込フォームからお申込みください。

【問い合わせ先】

生研支援センター企画課 山本・宇賀神

E-mail: brain-guidance@ml.affrc.go.jp

.....

4. 2023 年度の競争的研究資金について

【研究開発関連】

☆JST：「令和 5 年度 大学発新産業創出基金事業 ディープテック・スタートアップ国際展開プログラム」

<https://www.jst.go.jp/program/startupkikin/deeptech/koubo2023.html>

分野等：ディープテックの技術シーズを核に国際市場への展開を目指す大学等発スタートアップの創出に向けて、概念実証以降のステップに入ることが適切と判断され、審査を経て採択された課題の事業開発と研究開発を支援する。

公募期間：2023 年 8 月 29 日～11 月 30 日

☆NEDO：「ディープテック・スタートアップ支援基金/国際共同研究開発」

https://www.nedo.go.jp/koubo/AT092_100217.html

分野等：ディープテック・スタートアップが海外市場への展開を目的として海外企業と行う共同研究開発に対し、NEDO と相手国側のイノベーション支援機関（公的支援機関）が並行して、それぞれ自国企業の研究開発費用の一部の助成等を行う。

公募期間：2023 年 9 月 21 日～2024 年 1 月 31 日

☆NEDO：「2023 年度ディープテック・スタートアップ支援基金/ディープテック・スタートアップ支援事業（第 3 回公募）」

https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100429.html

分野等：技術の確立や事業化・社会実装までに長期の研究開発と大規模な資金を要し、リスクは高いものの国や世界全体で対処すべき経済社会課題の解決にも資すると思われる革新的な技術の研究開発に取り組んでいる「ディープテック・スタートアップ」を対象とした助成事業の公募を行う。VC 等との協調やステージゲート審査の活用を制度上盛り込み、長期的視野でもって、実用化研究開発や量産化実証、海外技術実証などへの支援を行う。

公募期間：2023 年 9 月 27 日～12 月 7 日

☆NEDO：「グリーンイノベーション基金事業/廃棄物・資源循環分野におけるカーボニュートラル実現」

https://www.nedo.go.jp/koubo/EV2_100264.html

分野等：

1. CO2 分離回収を前提とした廃棄物焼却処理施設の開発
2. 高効率熱分解処理施設の大規模実証
3. 高効率なバイオメタン等転換技術の開発処理

公募期間：2023 年 10 月 10 日～12 月 4 日

☆国土交通省：「令和 6 年度河川砂防技術研究開発」

<https://www.mlit.go.jp/river/gijutsu/kenkyu.html>

分野等：1. 河川技術部門、2. 砂防技術部門、3. 河川生態部門、4. 海岸技術部門

公募期間：2023 年 10 月 2 日～11 月 17 日

☆上記以外の研究資金については、研究対象分野も含めて下記の東海生研ホームページの「NEWS」欄に最新情報を掲載していますのでご覧下さい。

東海生研ホームページの NEWS（お知らせ）の URL <https://www.biotech-tokai.jp/>
.....

5. その他の情報

(1)新技術情報

☆茶関係

○チャ新品種「ゆめすみか」と「しずゆたか」について

静岡県農林技術研究所茶業研究センターが育成したチャ新品種「ゆめすみか」（旧系統名：90-2-213）と「しずゆたか」（旧系統名：95-7-35）が令和 5 年 5 月 19 日及び同年 3 月 30 日に品種登録出願公表されました。「ゆめすみか」は香りに特徴があり、香り緑茶製法等により萎凋させることで爽やかなスミレのような香りが際立ちます。「しずゆたか」は収量が「やぶきた」の約 2 倍多く、チャの重要病害である炭疽病の発生がほとんどみられません。

・静岡県 HP：

<https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/1046794/1055015.html>

☆昆虫関係

○昆虫の力を借りて食品廃棄物の臭気を抑える技術を開発

－育てた昆虫はタンパク質資源として利用可能－

農研機構、東京大学、筑波大学の研究グループは、アメリカミズアブ幼虫の腸内細菌叢を含んだ飼育残渣を食品廃棄物に加えることで、食品廃棄物が発生する臭気を抑える技術を開発しました。本技術は、ミズアブを使った食品廃棄物の処理時に生じる悪臭の問題を解決し、ミズアブ処理による食品残渣のリサイクルの拡大と昆虫タンパク質の生産拡大に貢献します。

・農研機構 HP：

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nias/158033.html

.....

編集後記

10月19日に有機農業の推進をテーマとしたセミナーを開催しました。国や地方公共団体の施策や有機農業を実践している方のお話を聞くことができました。栽培することがいちばん苦勞するところだと思っていましたが、岐阜県のアンケート結果で、生産技術も経営収支も安定しているという回答が多かったという紹介があり、ちょっと驚きました。ここには、技術も経営も安定させるための並々ならぬ努力が潜んでいるのだらうと思いました。今後、行政の支援、仲間との連携、そして地域の協力により、有機農業が発展していくことを望みます。

さて、12月7～8日には「アグリビジネス創出フェア in 東海」を開催いたします。内容については、本メールマガジンおよび当研究会のホームページをご覧ください、ふるってご参加ください。

===== 《メールマガジンに関するお問い合わせは》 =====

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会 伊藤・道村

TEL&FAX : 052-789-4586

E-mail : bio-npo2*y4.dion.ne.jp (*を@に書き換えてください)

URL : <https://www.biotech-tokai.jp/>

東海生研のメルマガ配信の登録（無料）ご案内

<https://www.biotech-tokai.jp/ezine-reg>